

# 山口県議会台湾友好・調査訪問団報告書

(令和5年7月14日～7月17日)

団 長	友 広	巖
団 員	笠 本 俊 也	
	江 本 郁 夫	
	山 手 康 弘	
	有 近 眞知子	
	岡 生 子	
	笹 村 直 也	
	猶 野 克	
	氏 原 秀 城	
	中 本 喜 弘	
	松 浦 多 紋	

## 【 目 次 】

○台湾友好・調査訪問を終えて .....	1
・ 7月14日（金）〔新竹市〕 .....	3
・ 7月15日（土）〔台南市〕 .....	4
・ 7月16日（日）〔台南市〕 .....	6
・ 7月17日（月）〔台北市〕 .....	9
○所感 .....	11
○訪問日程、訪問団名簿 .....	21

## 台湾友好・調査訪問を終えて

団 長 友 広 巖

このたび、台湾への派遣という貴重な機会をいただき、関係の皆様に対し、訪問団一同、心からお礼を申し上げます。

県議会では、平成25年に台湾との友好を促進し、親善を図ることを目的として、超党派の議員による日台友好促進山口県議会議員連盟が設立されて以降、議員連盟を中心に、台湾や台南市をはじめとする都市との交流を重ねてきました。

こうした中、令和3年5月には、台湾との交流をさらに深化させ、執行部の取組を支援していくため、県議会と台南市議会との友好交流に関する覚書を締結いたしました。

こうした議会同士の覚書の締結などを背景に、この度、台南市との結びつきをより強固なものとするべく、執行部において観光や物産、経済等の分野における交流に関する覚書が締結されました。これまでの県議会の取組が契機となり、本県と台南市との新たな交流がスタートすることは大変喜ばしく、またコロナ後の反転攻勢に向けて取組を進める上で、大変意義深いものと考えており、今後の成果に大きな期待を寄せています。



山口県・台南市観光、物産経済交流協定締結式にて

覚書が締結された翌日には、本県出身の林方一氏が

1932年に創業した林百貨という歴史と趣のある会場の中、山口県観光物産情報発信会が開催されました。

私ども訪問団もステージには近づけないほど、人と活気に溢れる中、知事と楽天ガールズの対談を交えた観光情報の発信、山口の地酒の試飲、観光物産展示等が行われ、多くの方に山口県に興味を持っていただ

く機会となり、同時に台南市民の山口県への関心の高さを窺い知る機会にもなりました。

また、新竹市では高虹安市長、陳啓源市議会議員をそれぞれ表敬訪問し、短い時間ではありましたが、有意義な会談が行われ、今後の経済交流の活発化に向けて、検討を進めていくこととなりました。



新竹市議会 陳啓源議員と

新竹市は、台湾のシリコンバレーとも呼ばれ、半導体関連企業

が集積していることから、製造業が盛んで半導体分野でも関連企業が集積している本県とは、今後も産業分野での交流が大いに期待されます。

また、最終日には、台湾のデジタル庁に当たる数位発展部を訪問し、オードリー・タンデジタル担当大臣との対面による対談が初めて実現し、訪問団もこの貴重な場面に立ち会うことができました。

対談では、タン大臣から生成AIやオープン・ガバメントについて、貴重なアドバイスをいただきましたが、その知識や考え方、人としての懐の深さにもとても感銘を受けました。

このほか、安倍元総理写真展の開幕式への出席や台南市内の企業視察も行い、4日間という短い期間でしたが、それぞれ訪問先において、温かい歓迎や丁寧な説明をいただくなど、充実した密度の濃い訪問となり、貴重な経験をさせていただきました。

訪問内容の詳細につきましては後述しますが、今回の訪問を通じて得られた成果を、今後の議会活動に活かしていかなければならないと、訪問団一同、思いを新たにしたところです。

結びに、議員団の派遣に理解をいただいた現地関係者をはじめとする関係の皆様、議員団を代表して心より感謝を申し上げます。

令和5年8月

## 7月14日（金）〔新竹市〕

### ■新竹市長・市議会表敬訪問

新竹市役所を訪問し、陳啓源市議会議員、高虹安市長をそれぞれ表敬訪問した。

令和4年2月に新竹市長から知事宛てに今後の民間交流を進めたいとの申出があり、今回訪問で意見交換を行うこととなった。同市は、世界最大の半導体受託製造会社TSMC（台湾積体電路製造股份有限公司）に代表される半導体関連企業が集積していることから、「台湾のシリコンバレー」と呼ばれる産業都市である。

高虹安市長からは、会談の中で日本は台湾にとって大変親しみがあり、台湾への投資額がアジアで最も多いことや山口県の企業も新竹市に進出しており、お互いの経済的な交流が促進されることを期待していると述べられ、本県と新竹市で、今後、さらなる経済交流の促進に向けて検討を進めていくことで意見が一致した。

新竹市議会では、議員になる前に勤めていた仕事の関係で山口県にいられたこともあり、日本語も話せる陳啓源市議会議員から日本語で歓迎の挨拶があった。会談の後、陳啓源議員の案内で議場の見学もさせてもらった。議場内に大きなモニターが設置され、議場内が映し出される仕組みとなっており、議会のデジタル化が進んでいる様子も見ることができた。



新竹市役所前で高虹安市長と



新竹市議会の表敬訪問の様子

## 新竹市の概況

- 1 人口  
約45万人
- 2 面積  
約104km<sup>2</sup>
- 3 主要産業  
半導体産業（台湾のシリコンバレー）
- 4 その他  
東ソー（新竹市）、大晃機械工業（新竹県）、  
トクヤマ（新竹県）が進出



## 7月15日（土）【台南市】

### ■山口県と台南市との分野別覚書締結式

台南市役所を訪問し、山口県と台南市との観光・物産、経済等に関する交流・協力に関する覚書締結式に出席した。

黄偉哲市長からは、挨拶の中で、台南市にも有名な泥湯温泉があり、市長自身も温泉が好きであることから、温泉がある山口県との交流を非常に楽しみにしていること、山口県では台湾の消費者も好きな苺やりんご等が生産されていると聞き、農林水産物の交流にも大変期待しているとの



分野別覚書締結式の様子

発言があった。また、来年は台南市の開拓400年の節目の年であり、来年予定されているイベント等で山口フェアができるとよいといった具体的な提案や台南市で行われるマラソン大会等を通じてスポーツ面での

交流も歓迎するといった発言があり、覚書の締結を契機に両州市の交流の一層の活発化に期待を感じさせる締結式となった。



分野別覚書締結式の様子

### 台南市の概況

1 人口

約185万人

2 面積

約2,200km<sup>2</sup>

3 主要産業

[一次産業] パイナップル、マンゴー 等

[二次産業] 半導体・集積回路 等

4 その他

令和3年5月に両州市議会による友好交流に関する覚書を締結



### ■安倍元総理写真展開幕式・視察

台南市等の主催で耘非凡美術館（台南市内）において開催された、安倍元総理写真展への招待を受け、開幕式に出席し、会場の視察を行った。

会場には往時を懐かしむ人や安倍元総理に哀悼の意を表する台南市民等が多く訪れ、台湾で撮影された安倍元総理の貴重な写真や絵画作品等を鑑賞していた。

黄市長から台湾の人々にとって「一番の友人」とも称されたとおり、長年台湾との関係構築に尽力された安倍元総理が台湾との友好の礎となっていることを改めて感じさせる写真展であった。



安倍元総理写真展にて

### ■台南市主催レセプション

台南市主催のレセプションに出席し、黄偉哲市長や分野別覚書締結式に出席できなかった邱莉莉議長に加え、林榮川台南市経済発展局長、翁章梁嘉義県長などと意見交換を行った。

村岡知事と黄市長の挨拶では、それぞれ覚書の締結への感謝と今後の両縣市の間における様々な交流の促進について発言があった。



レセプションの様子

## 7月16日（日）【台南市】

### ■台南市内企業（奇美食品股份有限公司）視察

奇美食品幸福工場を訪問し、会社の概要や商品の製造に関する説明を受けた後、工場内の視察、意見交換を行った。

意見交換では、台湾も少子高齢化で市場規模の縮小が見込まれる中、

台湾の企業も海外への輸出に力を入れており、奇美食品が日本の外食産業向けの輸出等も手掛けていることや海外にも工場を作る予定があること等について説明があった。

本県と台南市との覚書の締結により、今後一層の経済交流の活発化が期待される中、実際に本県内の企業とも取引のある奇美食品を視察し、意見を聞くことができたことは有意義であった。今後こうした企業が増えていき、様々な形で相互に交流が促進されることを期待したい。



奇美食品幸福工場にて



意見交換の様子

### 奇美食品股份有限公司（会社概要）

- 奇美実業のグループ会社として1971年に創立された食品製造業者。
- 現在は、中華肉まんを主力商品として冷凍調理食品を販売。
- セブンイレブン、ファミリーマートなどの主要なコンビニエンスストア業会でも実績がある。
- 日本、米国、カナダ、ヨーロッパ、オーストラリア、そして東南アジア各国のスーパー及びレストランと取引。
- 同社の親会社である奇美実業は、石油化学、バイオ、半導体など、多岐にわたる事業を展開している。

### ■山口県観光・物産情報発信会視察

林百貨で開催された山口県観光・物産情報発信会の視察を行った。



情報発信会では、本県のPR動画の上映や知事と楽天ガールズとの対談を交えた山口県の観光情報の発信が行われた。同じ林百貨の中に設けられたPRブースでは山口の地酒の試飲や観光パンフレットの配布等が行われ、賑わいを見せていた。議会訪問団もブースに入り、自ら、来場者へ山口県を積極的にPRした。



観光PRブースの様子

インフルエンサーでもある楽天ガールズの人気も相俟って、来場者がとても多く、台湾の人々に山口県の観光・物産の効果的なPRとなった様子が窺われた。



山口の地酒試飲コーナーの様子



情報発信会の様子

### 林百貨 概要

- 山口県山口市出身の林方一氏が1932年に創業。日本統治時代の台南において、唯一近代的なエレベーターを備えた建物。
- 台南市により1998年に市定古跡に認定。2010年から修復作業が行われ、2014年6月から特産品販売施設「林百貨」として再活用されている。

## 楽天ガールズ

- 台湾プロ野球チーム「楽天モンキーズ」チアリーダー。
- 台湾に向けた誘客プロモーションの一環として制作した山口県のPR動画にも出演。

## 7月17日（日）【台北市】

### ■オードリー・タン デジタル担当大臣と知事等との対談

台湾のデジタル庁に当たる数位発展部を訪問し、オードリー・タン デジタル担当大臣との対談に同席した。

対談では、村岡知事や島田副議長から生成AIやオープン・ガバメント等について意見を伺い、タン大臣から貴重なアドバイスを受けた。

タン大臣からは、AIの導入に関しては、「パワー」と「ケアー」の両面への配慮が必要であり、AIの力が強くなりすぎると、安全面で不足する部分が出てくる。全ての人に関わる民主的なプロセスが重要で、台湾では皆の願いや意見を取り入れたAIの開



オードリー・タン大臣と

発を進めたいと考えているといった説明があった。また、教育面でも学生には、AIが生成した偽情報を判別する能力だけでなく、自ら事実を確認する能力を身に着けさせることで、偽情報に対する対応力が強くなることがわかっており、そういう能力の育成が重要であるとの意見があった。

また、台湾行政プラットフォーム「ジョイン」の真の価値は住民の願いを聞くだけではなく、提案者が解決に向けたソリューションも提案するところである。例えば、全ての教室に冷房が必要という議論があり、

課題としては発電がそれを賄えるかということであったが、その課題をクリアする提案も行われ、実現に至っている。新しい技術については、民主化がとても重要で、利用したい人が登録してやりたいことにチャレンジできる環境を整え、問題が生じた場合にはお互いにケアし合うことで、新しい技術がよりよいものとなっていくと考えている等の発言があった。

タン大臣は、短い時間での対談では語り尽くせないテーマや質問であるため、この場では簡潔に回答し、改めてメールや文書等でやりとりさせてほしいと言われながらも、1つ1つの質問にとっても丁寧に、穏やかに回答されていた。対談の内容はデジタル改革に関連する事柄であり、今後の本県のデジタル改革の参考としていくべきものであるが、タン大臣からも対面式の交流もとても大事と言われたとおり、改めて直接会って交流することの大切さも再認識させられた対談の時間となった。



対談時の様子

### 台湾行政プラットフォーム「ジョイン」

- 住民の提案をインターネットで受け付ける仕組み。
- アイデアを提案し、60日以内に5千人の賛同を得られた場合、その提案に対して行政の関連部門は、2カ月以内に書面により回答しなければならないルールがある。
- 選挙権のない若者が提案したプラスチック製ストローの禁止の提案が実際に採用され、実現した等の実績がある。

## 《所感》

### 笠本俊也

今回、新竹市、台南市をはじめとする貴重な訪台の機会をいただき、島田副議長はじめ、先方との調整等にご尽力いただきました関係の皆様に対し、心より感謝申し上げます。

最初に訪問した新竹市は、半導体チップシェア世界一のTSMCを母体とする関連企業が新竹科学園区に集積するとともに、本県からも東ソー（株）をはじめとする企業進出の実績があり、更なる山口県内企業の進出も期待されているところです。対談した高市長からも山口県企業からの投資に期待するご意見や日台企業間交流を進めたい等の発言を頂戴いたしました。



新竹市議会の議場見学の様子

国内の多くの企業が、あらゆる角度から、また人脈等を駆使して、経済発展著しい台湾や東南アジア地域の市場開拓や投資を進めている中、企業により近い地方自治体同士の交流の深化はその源を担っていると感じます。私も十数年前、山口県企業や県産品の市場開拓の最前線に携わった経験がありますが、その大切さを肌身で感じてまいりました。

県が県内企業や開拓先企業とのフォローアップの役割を果たすだけでなく、事務局・窓口として双方の情報提供に努め、開拓先政府からの信頼づくりを担う大切さ、本県と台湾とのこれからの歴史を創る役割を担っていく大切さを感じるとともに、県議会としても、そのつなぎ役を担っていかなければならないことを今回の訪問で改めて実感したところです。

今回の訪問を機に、これまで県、県議会の先輩諸兄が台湾当局と積み重ねて来られた歴史を基軸に、経済交流の促進はもとより、すそ野を広げ、観光、文化の面からもアプローチを実践し積み重ねて、更なる新竹市との交流を切り拓いていけるよう、今後も議会の一員として活動をしてまいります。

---

## 江本 郁夫

私にとって県議会議員としての訪台は今回が2回目となる。その最初は、平成27年9月であった。この平成27年の訪台が日台関係の次のステップに繋がる重要な訪問であったことは後に知ることとなる。その直後の蔡英文総統の知事訪問を含め、それ以後も知事部局、議会それぞれ表敬、訪問を繰り返しつつ今日に至っており、今回の台南市・台南市議会との観光、物産交流協定も山口県、台南市相互関係部局による用意周到の下堅実に実行されたとの感を持った。

翌日行われた台南市や八田與市文化芸術基金主催の「安倍元総理写真展」は大変な盛況を見せ、その際特に感じたことは、日台関係の発展の歴史はまさに第二次安倍政権（平成24年発足）の実績の上にあったという事である。式典での台湾立法委員である郭國文氏の挨拶でも安部元総理に対する深い哀悼の念とともに



安倍元総理写真展にて

そのことへの言及があり、特に印象に残った。今後の山口県と台湾との友好関係の継続及び台湾の平和と発展を願い所感とする。

---

## 山手 康弘

まずもってこの度は、数位発展部部長 唐 鳳（オードリー・タン）氏と知事等との意見交換の場に同席をさせていただきまして感謝申し上げます。

唐部長は皆様ご存じのとおり、台湾における新型コロナウイルスの封じ込めの立役者であります。

意見交換では最初に、唐部長からオンラインの交流もいいが、対面式の温かみがある交流も必要という発言がありました。デジタル化が進んでいても、どこまでも人と人の対面での交流が大切であるという唐部長の思いを強く感じました。



タン大臣との対談の様子

生成AIについては、AIはあくまでツールであり、最終的な決断、確認の責任は人間が負っていくというのが、今後のAIとの向き合い方になると感じました。

また、唐部長は教育現場でも、AIが生成した情報に対し、自ら事実を確認する能力を身に付けさせたいと考えており、今後の本県の人材育成に参考になる視点でした。

通訳を介しての対談で、テーマがデジタルという先進的な分野であることもあり、やや比喩的で想像力を要する部分もありましたが、確実に山口県と台湾との友好と親善は深まったと思います。

また、新竹市や台南市にも訪問しましたが、こうした交流の積み重ねが、信頼につながり、互いの友好の促進につながっていくことを確信する機会となりましたし、議員がこうした海外交流の場を経験することは重要であると改めて感じました。今後はこの経験を生かし、地場の観光や産業の対外輸出の橋渡しになれるよう、議会の一員として取り組んでまいります。

---

## 有近 眞知子

新竹市は、台北から新幹線にあたる高速鉄道に乗って約30分。窓の景色は、田園風景から、新竹駅が近づくと一変し、高層建物が建ち並び、さらに建設ラッシュの様子。ここ5年で地価が倍となり、3高(高学歴、

高収入、高出生率)と言われるのも納得で、市全体の雰囲気、世界の半導体サプライチェーンの中で、鍵を握る重要な存在に急成長していることを物語っていました。

また、市長から山口県への熱い思いを聞かせていただくとともに、台湾の外資産業の多くが日系企業であることや、山口県は製造関連産業が発達していることから、産業振興交流やビジネスのチャンスを伺えたらとのお話もあり、今回の表敬訪問で、今後の産業交流を展開していく足がかりが構築されたと確信しました。

同市内では、半導体関連の民間企業の方とも交流、意見交換の機会があり、様々な情報を収集することができました。



新竹市役所にて

今回の視察では、長年にわたり、官民さまざまな方々が交流を重ねてこられた歴史のおかげで、台湾と日本、山口県は深いご縁で繋がっていることを実感するとともに、急速な技術、社会変化の時代だからこそ、これまでに先人たちが時間をかけて築いてこられたご縁をしっかりと繋げていくことが重要であると感じました。私も、今回頂いたご縁を大切に、微力ながら尽力してまいります。

---

## 岡 生子

まずは、この度の台湾訪問の機会を与えていただいた、関係の皆様にご感謝申し上げます。

今回、台南市への訪問の際、本県と台南市が観光、物産、経済等に関する交流・協力に関する覚書を締結いたしました。安倍元総理や岸元衆議院議員をはじめ、県議会の先輩方が進めて来られた日台の友好がまた一つ実を結び、新たな友好関係がスタートする場面に立ち会えたことは、

大変嬉しく、また光栄な出来事であったと思います。

台南市では、現地の有名な食品加工会社である奇美食品を視察しました。社長のアイデア・バイタリティーは素晴らしく、現在も色々なことにチャレンジしておられ、その勢いを強く感じました。また、取引は国内にとどまらず、海外へと拡大を進めておられ、本県の企業との取引も始まることになっており、今後の本県との取引の拡大が期待される会社です。今回の覚書締結を機に、本県と台南市の民間同士の経済交流が一層活発化するよう、議会としてもしっかり支援していくことが大事であると感じました。



台南市主催セッションにて黄市長と有近議員と

同じく、台南市で安倍元総理の記念写真展の開幕式も視察させていただきました。1枚1枚の写真に、当時の安倍元総理の人とのつながりを大切にしている気持ちと誠意が現れているような、自然体の写真でとても心に響きました。また、会場には、多くの台南市民が詰めかけており、台南市長や来賓の方々から語られる言葉からも安倍元総理が台湾の人々から支持されていることを改めて実感しました。

私自身も、今後、台湾との間で先輩諸兄が積み重ね、築いてこられた信頼関係や友好関係をしっかりとつなげていき、さらに幅広い交流や友好関係につながっていくよう、決意を新たに組み組んでまいりたいと思います。

---

## 笹村直也

この度、山口県議会台湾友好・調査訪問団の一員として、オードリー・タン氏と知事等の対談に同席いたしました。

AIが対話形式で質問に答える「チャットGPT」が登場し、その利



用方法が課題となるなど、急速に発展するデジタルと社会がどう向き合っていくかが大きなテーマとなっています。コロナ禍においてデジタルを活用した感染対策で世界の注目を集めたタン氏からの指摘は、今後の県のデジタル政策を考える上でも示唆に富むものでした。



オードリー・タン大臣との  
対談の様子

同氏からは、開かれたデジタル政策であることの必要性、さらには僻地においてもその恩恵が及ぶような通信インフラ整備の重要性について説明がありました。

ともすれば、直接の顔が見えず「冷たい」印象すらある「デジタル」ですが、同氏は対面でのコミュニケーションの重要性を説き、デジタルが対面を補完することにより、社会が発展する旨の指摘もありました。

また、失敗をして改善を重ねることによって、よりよいものになるとのアドバイスもあったところであり、本県も大胆に挑戦しながら、新しい時代を切り開くデジタル先進県として取り組みが加速するよう、議会の一員として取り組んでまいりたいと思います。

---

## 猶野 克

この度、山口県議会台湾友好・調査訪問団の一員として、新竹市長及び、新竹市議会への表敬訪問をさせていただきました。

新竹市は台北から約60kmの台湾北西部に位置し、人口約45万を有する都市です。私がITエンジニアとして活動していた当時、著しくIT産業が発展をしていた台湾にビジネスで訪れたのが約20年前、その

際、新竹市にも訪れました。

当時はまだ駅前も自然豊かで緑が多く残る印象でしたが、今では、「台湾のシリコンバレー」といわれるほど、パソコン、通信、半導体などIT関連企業が集中する世界的にも有名な工業団地、「新竹サイエンスパーク」が誕生し、台湾の基幹産業であるハイテク産業が盛んな都市へと大きく変貌していました。



新竹市役所にて

始めに新竹市議会関係者の熱烈な歓迎を受け、懇談、施設や議場等を拝見した後、高虹安・新竹市長との面会、意見交換をする機会も得ました。

高市長は、まさに新竹市の隆盛を象徴する39歳新進気鋭の若い女性市長で、強いリーダーシップを発揮されていますが、今後、山口県とのより深い交流に期待を寄せる話がありました。台湾の重要都市のトップと共有した時間は、何ものにも代えがたい非常に有意義で成果を得た表敬訪問であったと確信しております。

---

## 氏原秀城

台湾友好・調査訪問団の一員として参加する機会を頂き、関係各位に感謝申し上げます。

山口県と台南市との観光・部産等の分野における交流に関する覚書の締結は、2021年に山口県議会と台南市による友好交流に関する覚書を締結したことを機に発展したのですが、締結時の黄台南市長の挨拶

からも、より良好な関係構築の発展を望む思いを強く感じました。

視察先の食品企業では、台湾内の少子化等に伴う消費力の飽和を鑑み海外市場の拡大に取り組んでいる中、山口県内の企業との連携を進めているとのこと、また、山口県観光物産情報発信会では村岡知事とともに議員団もPRの一役を担いましたが、台南市民の方からの熱い期待と声援は山口県の知名度向上を図れたものと感じました。

終わりに、この度の派遣を通じ、世界的に注目されている台湾の産業力の源を感じるとともに、今後の山口県と台湾との産業・観光交流の発展・連携の支援に向け努めてまいる所存です。



台南市役所にて

---

## 中本喜弘

2日目は台南市（政府直轄市、人口約185万人）を訪れ、山口県・台南市の分野別覚書締結式に出席した。

令和3年5月、山口県・台湾との友好交流促進のため、県議会は台南市議会と友好交流に関する覚書を締結しており、この度の覚書締結の基となっている。県執行部と県議会が揃っての訪台は山口県と台湾の観光客誘致や実質的な経済交流の新たなステージに繋がる



台南市役所にて

と感じた。

その後、台南市内、耘非凡美術館に移動し、安倍元総理写真展の開幕式に出席した。多くの参加者があり、台湾での安倍元総理の絶大な支持の一端に触れた。

翌日は奇美実業グループ奇美食品幸福工場の視察に参加した。中華まん等の冷凍食品の製造販売を手がけ、日本、欧米、東南アジアなど各国のスーパー・レストラン、そして山口県のスーパーとの取引があり、使用食材・製造工程・食味においても繊細で安全な管理を行ない、優れた商品を提供している。奇美実業の半導体分野など多角的経済交流も大きな魅力だ。その後、林百貨で開催された山口県観光物産情報発信会に出席。多くの来場者があり、今後の交流の可能性を強く感じた。

海外交流成功の基本は、両者が直接訪問を重ね、人間関係の構築が大切であると実感した台南市訪問であった。

---

## 松 浦 多 紋

台湾友好・調査訪問団の一員として参加する機会を頂き、関係各位に感謝申し上げます。

山口県と台南市との観光・物産・経済の分野における交流に関する覚書の締結では、黄台南市長の挨拶からも、より良好な関係構築の発展を望む思いを強く感じたとともに、村岡知事挨拶でのチャーター機の検討や具体的な農産物のPRなどから、県が観光客の誘致や農林水産物の輸出拡大等の重点地域として位置づけ



山口県観光物産情報発信会にて

ている台湾への取組の今後一層の活発化に向けた機会になったと思います。

視察先の食品企業では、台湾内の少子化等に伴う消費力の飽和を鑑み海外市場の拡大に取り組んでいる中、山口県内の企業との連携を進めているとのこと。

また、山口県観光物産情報発信会では村岡知事とともに議員団もPRの一役を担いました。

終わりに、この度の派遣を通じ、世界的に注目されている台湾の産業力の源を感じるとともに、今後の山口県と台湾との産業・観光交流の発展・連携の支援に向け、引き続き積極的につとめてまいりたい所存です。

## 訪 問 日 程

7月14日（金）〔日本 ⇒ 新竹市〕

新竹市議会表敬訪問

新竹市長表敬訪問

7月15日（土）〔台南市〕

山口県と台南市との分野別覚書締結式

安倍元総理写真展開幕式・視察

台南市主催レセプション

7月16日（日）〔台南市〕

台南市内企業（奇美食品）視察

山口県観光物産情報発信会視察

7月17日（月）〔台北市 ⇒ 日本〕

オードリー・タン デジタル担当大臣と知事等との対談

## 訪 問 団 名 簿

団 長	友 広	巖	自由民主党（周南市）
団 員	笠 本	俊 也	自由民主党（長門市）
団 員	江 本	郁 夫	自由民主党（山陽小野田市）
団 員	山 手	康 弘	自由民主党（岩国市・和木町）
団 員	有 近	眞知子	自由民主党（柳井市）
団 員	岡	生 子	自由民主党（萩市・阿武町）
団 員	笹 村	直 也	自由民主党（萩市・阿武町）
団 員	猶 野	克	公明党（宇部市）
団 員	氏 原	秀 城	やまぐち県政会（宇部市）
団 員	中 本	喜 弘	政友会（美祢市）
団 員	松 浦	多 紋	県民の誇りを育む会（防府市）

---

随 行	堀	泰 志	議会事務局 政務企画室長
随 行	大 野	薫	議会事務局 総務課 主幹
随 行	西 村	俊	議会事務局 政務企画室 主査
添 乗 員	友 杉	孝 之	（株）JTB山口支店